

2024年12月27日

部員達によるパート活動報告に関する総括

陸上競技部監督 吉田真人 (H9卒)

陸上競技部監督の吉田です。日頃より現役部員をご支援賜り誠にありがとうございます。本稿では、2024年より始めました各パートの活動報告に関する総括および今後の展望について述べさせていただきます。

既に陸上競技部のホームページをご覧くださいております会員の皆様も多くいらっしゃると思うのですが、OBOG通信における各競技会の報告以外に、陸上競技部の活動の様子をもっと会員の皆様に知っていただこうと、パートキャプテン(PC)を中心に1月に1パートのペースで下記のURLにて活動報告をしまいいりました。

東北大学陸上競技部ホームページ内「OBOGの皆様へ」のコーナー：

<https://www.tohokutf.com/obtushinonline.html>

現在、陸上競技部は、短距離、ハードル、中距離、長距離、跳躍、投擲、マネージャの計7つパートに分かれておりますが、2024年の七大戦が終わったタイミングで各PCに1度ずつ寄稿してもらい、この半年で各パートの活動報告が一巡しました。今回は最初の試みということで、各パートの投稿順序やその期日は監督の方で決めましたが、全PCがその期日を厳守し、自身のパートの活動をしっかりアピールしてくれたと思います。2025年も試行錯誤しながらではありますが、会員の皆様の関心のある話題を提供することを目標に、部員達には継続的に活動してもらいたいと思います。そして私もその活動を支援し続けたいと思います。

以上の広報活動をはじめ、私が取り組んできました現役部員の支援活動に関し、会員の皆様の一つご理解いただきたいことがあります。本活動は、陸上競技部の顧問としての義務感で実施しているものではなく、三秀会会員としての取り組みの一つでございます。私はいずれ監督を退任しますが、その後も現役部員の支援を継続する気持ちでいます。陸上競技部の顧問以外の会員の中にも、機会さえあれば現役部員の支援活動を快くお引き受けいただけるOBOGが多数いらっしゃると思います。2024年12月の三秀会総会の席で私の取り組みにご報告させていただき、今後も「現役部員を支援する幹事」として活動していくことをご承認いただきました。その後、幹事長より「幹事(部員対応)」を拝命しました。同様の取り組みは、コーチの及川さん、健二さん、眞山さんにも長年実施いただいております。もちろん仙台から離れた遠隔地においても支援できる活動は沢山あります。この活動にご賛同いただける会員の皆様は、是非、メール等で吉田までご一報いただきたく存じます。会社(大学等)の業務と家族サービスで多忙な会員によるボランティア活動でありますので、細く長く活動できる組織作りを目指しております。

以上、陸上競技部における広報活動の様子ならびに現役部員の支援活動の在り方に対する私の考えを述べさせていただきました。会員の皆様からの忌憚のないご意見をいただきたく、ご助言のほど宜しくお願い致します。